

第3回中部9県観光検定試験 解答と解説

【総合問題】

問1) 解答

『中部の観光(第6刷)』P.150

問2) 解答

『中部の観光(第6刷)』P.150

問3) 解答

街道起点から一里ごとに一里塚を建てることは、江戸時代の東海道で始まった。

問4) 解答

は産業観光についての特色で、～が街道観光の特色を記述している。

『中部の観光(第6刷)』P.141、同P.151

問5) 解答

は産業観光についてのあり方で、～が街道観光のあり方を記述している。

『中部の観光(第6刷)』P.145～146、同P.155～156

【県別問題】

(富山県)

問6) 解答

飛騨街道は、富山から飛騨高山に通じる道で、江戸時代には、米、魚、塩などの物流が盛んに行われました。毎年、3～4万俵もの塩が運ばれたといわれています。

問7) 解答

劔岳 2,999m、別山 2,880m、大汝山 3,015m、雄山 3,003m

映画の舞台となった劔岳は、北アルプス立山連峰の富山県上市町と立山町にまたがる日本の百名山に選ばれた標高2,999mの山で、ひと際険しい岩峰でその威容を誇り、日本の登山者の憧れの山として有名です。

問8) 解答

『中部の観光(第6刷)』P.156～157

ノーベル街道にゆかりのある4人のノーベル賞受賞者は、利根川進氏(1987年ノーベル医学・生理学賞、小学1年から中学1年まで富山県大沢野町(現富山市)で過ごした。)、白川英樹氏(2000年ノーベル化学賞、小学3年から高校3年まで岐阜県高山

市で過ごした。) 田中耕一氏(2002年ノーベル化学賞、富山市生まれで高校まで同市で過ごした。) 小柴昌俊氏(2002年ノーベル物理学賞、1983年から岐阜県神岡町(現飛騨市神岡町)でカミオカンデという巨大な検出装置を使って実験開始。)です。

問9) 解答

氷見漁港(氷見フィッシャーマンズワーフ)と黒部漁港(魚の駅「生地」)を90分で結ぶ富山湾横断観光船が、平成21年夏に就航しました。海上をクルージングしながら3,000m級の立山連峰を眺めることのできる観光船は、県東部と県西部を結ぶ新たな観光として注目されています。

問10) 解答

加賀藩2代藩主前田利長公が、隠居城として高岡城を築いたのは1609年のことです。また、瑞龍寺(山門・仏殿・法堂)は、1997年に富山県で初めて国宝に指定されました。

(石川県)

問11) 解答

兼六園内にある噴水は、園内の霞ヶ池を水源とし、池の水面との高低差による自然の水圧を利用しています。水の高さは約3.5mあり、霞ヶ池の水位の変化によっても変わります。藩政末期、金沢城内の二ノ丸に水を引くため試作されたものと伝えられています。

問12) 解答

塩硝は、16世紀後半にはすでに越中五箇山周辺で作られていたと言われています。それが約40km離れた金沢まで運ばれ、硫黄や黒炭と調合され、良質の黒色火薬として保管されていました。加賀藩の火薬の生産は、質・量ともに全国一であったといえます。また、この「塩硝の道」は、五箇山でとれなかった米や布、蚕繭やお茶などが運ばれた生活の道でもありました。

問13) 解答

金箔は、純金に微量の銀、銅を加えた合金から成り、この合金を一万分の一ミリの厚さにまで、金のもつ輝きを失わせることなく均一の厚さに広げたものです。十円硬貨大の金合金をタタミ一畳分にまでのばす職人の技術と精進、雨や雪の多い湿った気候と水質のよさがそろって、金沢の製箔が他の追随を許さない地位を確立したと言えるでしょう。

問14) 解答

金沢～東京間は、現行ではJR在来線を利用して越後湯沢経由で最速3時間47分かかっていますが、北陸新幹線開通後は約2時間28分で結ばれる予定です。

問 15) 解答

波の花は、冬の能登の風物詩として知られ、厳寒の荒波にもまれた海中に浮遊する植物性プランクトンの粘液が石鹸状の白い泡を作って生成すると言われています。最初は白くきれいですが、時間が経つにつれて岩床の細かい粒などが混ざってうす黄色になっていきます。見頃は 11 月中旬から 2 月下旬の寒く海が荒れて波が高い日です。

(福井県)

問 16) 解答

『中部の観光(第6刷)』P.100

熊川宿は、若狭から京都を結ぶ重要な宿場で、奉行所・番所・お蔵屋敷の跡が残り、情緒あふれる街道沿いには昔ながらの用水路が流れています。豊臣時代から藩政末期におよぶ古文書・御用日記なども保存されています。熊川宿は、重要伝統的建造物群保存地区や歴史国道選定地区、水の郷 100 選認定地区に指定されています。

問 17) 解答

「ふくい・やまぎわ天下一街道」とは、越前市、鯖江市、福井市、永平寺町、勝山市、大野市の 6 つの市町のエリアに、天下一(全国一)の技・文化と誇れる 8 つの観光資源があり、この観光資源を結んだ新しい広域ルートです。

8 つの観光資源とは越前打刃物、越前和紙、越前漆器、一乗谷朝倉氏遺跡、大本山永平寺、福井県立恐竜博物館、白山平泉寺、越前おおのです。

問 18) 解答

今庄宿は、戸数 300 余軒という北陸街道を代表する宿場であり、大名や幕府役人などが宿泊した本陣の建物や江戸後期建築の『京藤甚五郎家』、旅籠を営んでいたとされる『若狭家』などがあり、当時の面影を色濃く残しています。

問 19) 解答

神宮寺(小浜市)の「お水送り」は、奈良・東大寺二月堂の「お水取り」に先がけて、「お水取り」に使う香水を送り出す神事として有名。神体山を借景に若狭随一の木造本堂(重文)が雄大な景観を見せてくれます。また、力強い木造金剛力士像を安置した仁王門(北門)は重要文化財に指定されています。

問 20) 解答

福井県恐竜博物館は、恐竜化石の宝庫として全国的にその名が知られている勝山市にある世界有数の規模の博物館です。広大な無柱空間には、恐竜の全身骨格標本 37 体が展示されており、大迫力の恐竜を間近で見ることができ、大人も子どもも楽しめます。隣接するかつやま恐竜の森では、恐竜化石発掘現場からは運ばれた石を使った化石発掘体験ができます。

(長野県)

問 21) 解答

鳥居峠は標高 1197m。木曾街道藪原宿と奈良井宿を結ぶ約 6 km は、鳥居峠を越える山道で、江戸時代は中山道屈指の難所として知られていました。現在は、信濃路自然歩道中山道ルートとして石畳の道も復元され、昔ながらの中山道を堪能することができます。鳥居峠の麓にある奈良井宿は、木曾路の中でも最も標高の高い位置(約 940 m)にある宿場町で、かつては「奈良井千軒」と謳われるほどの繁栄を誇り、現在は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

問 22) 解答

福島関所は日本四大関所の一つにも数えられ、中山道のほぼ中間に位置し、木曾路の要衝として、「入鉄砲」、「出女」等を取り締まった重要な関所です。現在は、長野県木曾町に位置し、江戸幕府の交通政策史上における極めて重要な遺構として、国の史跡名勝天然記念物に指定されています。関所跡地に隣接する福島関所資料館では、女手形、鉄砲手形など関所通行に関する資料や、取締のために置かれていた武具などが展示されており、往時の姿を現在に忠実に伝えています。

問 23) 解答

古来から往来のあった野麦街道は、飛騨高山と松本を結ぶ重要な道筋でした。野麦峠を越える道は、当時天領であり代官所の所在地であった飛騨高山と江戸を結ぶ道として利用されるとともに、信濃と飛騨を結ぶ物資往来の道としても利用され、信濃からは米、清酒などが、飛騨からはブリ、塩などの北陸産の海産物などが運び込まれました。このうち特にブリについては、信濃では飛騨鱒(ブリ)と呼ばれ、中南信地域の年取り魚として珍重されました。

明治に入り、岡谷・諏訪地方の製糸業が盛んになると、飛騨工女の往還路として利用されるようになり、その史実は、山本茂実(長野県松本市出身)の小説「ああ野麦峠」で広く知られるようになりました。

問 24) 解答

信濃国一之宮と呼ばれる諏訪大社は、七年に一度の寅と申の年に宝殿を新築し、社殿の四隅にあるモミの大木を建て替える祭りを行いますが、この祭りは「式年造営御柱大祭」、通称「御柱祭」と呼ばれています。諏訪大社は上社と下社に分かれ、諏訪市に上社本宮、茅野市に上社前宮があり、下諏訪町に下社春宮と下社秋宮があり、「御柱祭」は、諏訪地方の 6 市町村 21 万人の氏子がこぞって参加する天下の大祭として知られています。次回の「御柱祭」の開催期間は、平成 22 年 4 月 1 日(木)～ 6 月 15 日(火)ですが、秋には諏訪地方の各地区にある神社(小宮)でも御柱祭が行われるため、一年を通して盛り上がります。

問 25) 解答

デスティネーションキャンペーンとは、Destination(目的地・行き先)と Campaign(宣伝)という意味の合成語で、JRグループと地方自治体、観光関係者等が一体となって実施する大型観光キャンペーンです。長野県では、平成 22 年 10 月から 12 月の 3 ヶ月間、全国の JR 6 社と長野県内の観光関係者や市町村等が一体となって、「信州デスティネーションキャンペーン(信州 DC)」を展開します。

信州 DC では、効果的な PR 活動を行うため、「未知を歩こう。信州」をキャッチフレーズとして決定しました。信州は歩くほど発見がある「未知なる道の宝庫」であり、山歩きやトレッキング等の「自然の中の歩き」だけでなく、地域の歴史文化や生活に触れる「まちなか歩き」なども幅広く紹介しながら、未だ知られていない信州の魅力を一挙に紹介していきます。

(岐阜県)

問 26) 解答

琵琶峠は中山道美濃・近江両国の最も高い所(標高 558m)にあり、700m 余りにわたって石畳が敷かれています。

問 27) 解答

本陣東隣に今も残るうだつと格子窓の民家は、小説「夜明け前」の主人公 青山半蔵の内弟子 林勝重の生家で、作品では稲葉屋として登場します。

問 28) 解答

関ヶ原の合戦で西軍 石田三成の本拠地となった大垣城(別名「巨鹿城」)、現在の城は再建されたものですが、4 層 4 階の勇壮で美しいたたずまいの天守閣は、名実ともに城下町大垣のシンボルです。

問 29) 解答

の^{ただのみや}理宮は孝明天皇の第四皇女、の^{すまのみや}壽萬宮は孝明天皇の第三皇女、の^{ときのみや}敏宮は仁孝天皇の第三皇女、の^{かずのみや}和宮は仁孝天皇の第八皇女で、江戸幕府第 14 代将軍 徳川家茂の正室である。

赤坂宿の本陣跡には、皇女和宮を偲ぶ石碑が建っており、「落ちてゆく 身と知りながら もみじ葉の 人なつかしく こがれこそすれ」という皇女和宮が詠んだ歌が刻まれています。

問 30) 解答

岐阜の宝もの認定プロジェクトにおいて、平成 20 年 8 月に「岐阜の宝もの(全国に通用する観光資源となるもの)」を 1 件、「明日の宝もの(今後の取り組みによっては、“岐阜の宝もの”になると期待されるもの)」を 4 件、以上を含む「じまんの原石(今後、岐阜県の観光振興につながるもの)」を 27 件認定しました。 は、総貯水量

6億6千万トンを誇る日本一のロックフィルダムであり、「じまんの原石」に認定されました。は、「関さば」、「明石鯛」などとともに特許庁の「地域団体商標」に登録されており（淡水魚では唯一の登録）、「明日の宝もの」に認定されました。は、名水百選第1号に選ばれた郡上の湧水です。

（静岡県）

問31) 解答

は、1856年に日本最初の領事館を下田・玉泉寺に開いたタウンゼント・ハリスにちなんで整備された石畳（柿崎～須崎福浦）のこと。なお、下田公園で6月に開かれるあじさい祭りでは、15万株300万輪のアジサイが開花し、地場産品などの露店も出てにぎわいます（関連）。また、は、浄蓮の滝と河津七滝を天城越えに結ぶ16.2kmの散策コースです。川端康成の小説「伊豆の踊子」にちなみ、踊り子が歩いた道として多くの文学碑があり自然が豊かです。

問32) 解答

東海道三大難所は、ほかに箱根峠、鈴鹿峠。（ただし、薩埵峠、箱根峠、鈴鹿峠という説もあります。）

中山峠には、遠州七不思議の一つとして有名な「夜泣き石伝説」ゆかりの寺「久延寺」や「子育て館」で有名な茶店「扇屋」などが名所としてあり、ハイキングや史跡散策コースにも最適です。

問33) 解答

東海道島田宿の開墾人総代たちは、時の静岡県令（現在の知事に相当）に橋を架ける願いを出し許可され、明治12年1月13日に完成しました。平成9年12月、世界一長い木造歩道橋としてギネスに認定されて以来、ほのぼのとした郷愁が漂う観光名所として全国から観光客が訪れています。

問34) 解答

親孝行の息子が奉公先から帰ってくる途中で追いはぎに襲われて海に死骸を投げ込まれました。それを知った父親が息子を追って「薩埵峠」から身を投げたという悲しい伝説があります。雄大な富士山と崖の下に広がる駿河湾の美しい景色が一層悲しみを深くします。

問35) 解答

浜名湖の新居関所の厳しい取り締まりを嫌った女性が多く通ったため、「姫街道」と呼ばれたと言われていますが、「旧道」の意味で「ひねの道」を言い、それがなまって「ひめ街道」となったという説もあります。

(愛知県)

問 36) 解答

愛知県豊川市にあるこの松並木は、松が常緑樹であることから、夏は日差しを避けることが出来き、冬は防風・防雪の役目を果たしていました。

問 37) 解答

愛知県内の東海道は、東から二川宿(豊橋市)、吉田宿(豊橋市)、御油宿(豊川市)、赤坂宿(豊川市)、藤川宿(岡崎市)、岡崎宿(岡崎市)、池鯉鮒宿(知立市)、鳴海宿(名古屋市)、宮宿(名古屋市)の順となっていました。

問 38) 解答

『中部の観光(第6刷)』P.327

は岐阜城、 は掛川城、 は鳥羽城の別名です。

問 39) 解答

延宝年間(1673~1680年)頃から城内で鹿を飼うようになり、昭和初期にはお堀で鹿を飼うようになりました。戦時中の食料難で死滅。昭和27年に再び、お堀で鹿を飼うようになり、今日に至っています。

問 40) 解答

～ までは、名古屋を代表する食べ物です。鮒ずしは、フナを用いて作られる熟れ寿司(なれずし)の一種で、滋賀県の郷土料理です。

(三重県)

問 41) 解答

関宿の町並みの中に生まれた小公園。関宿が江戸から百六里余りにあることから名付けられました。通りに面した建物「眺関亭」からは、関宿の町並みが一望できます。

問 42) 解答

鍵屋ノ辻は、日本三大仇討ちの一つ「伊賀越え仇討ち」があった県史跡。伊勢街道と奈良街道の分かれ道でもあり、「ひだりなら道 みぎいせみち」と記された道しるべが歴史のドラマを語ります。 は、伊賀街道に存在する松尾芭蕉にちなんだ碑。 は、亀山市関宿の西の入口で、東海道と大和街道の分岐点。 は、元禄14年(1701年)、石井源蔵・半蔵兄弟が父の敵 赤堀水之助を石坂門外で討ち取った仇討ちを記念し、昭和7年に亀山市に建立された碑です。

問 43) 解答

開通当初(旧道路法施行当初)、東京から伊勢までが国道1号に路線認定されてい

ました。現行の新道路法施行後、国道1号は東京と大阪を結ぶ基幹道路にルート変更され、当初国道1号の区間だった四日市から伊勢までの間は、国道23号に変更されました。

このほかにも、日本で初めての有料道路である参宮有料道路（伊勢から松阪までの10.6km）が昭和28年（1953年）に開通するなど伊勢が日本でのはじまりとされているものがあります。

問44) 解答

現在の大紀町と紀北町の境にある^{にさか}荷坂峠は、江戸時代中期の徳川吉宗の時代に紀州藩の街道整備に伴い、伊勢の国から紀伊の国への正式な玄関口になりました。それ以前は荷坂峠の西にあるツツラト峠が国境の峠でした。

の女鬼^{めき}峠は、現在の多気町にあってかつての伊勢の国の中にあり、^{まごせ}の馬越峠は、現在の紀北町と尾鷲市の境に、^{はしかみ}始神峠は、現在の紀北町にあってそれぞれかつての紀伊の国の中にあります。

問45) 解答

庶民にとって伊勢までの旅費は、多額の出費であったため、それぞれがお金を出し合い、その積立で代表者が伊勢神宮に参拝できるという「伊勢（参宮）講」が全国各地に出来ました。現在でも宿場町だった地区には、それぞれの「講」が指定した旅館だった場所に講札と呼ばれた看板が残っており当時の風情を感じることができます。

（滋賀県）

問46) 解答

若狭でとれた魚介類の代表的なものが鯖であり、若狭湾で取れた鯖に塩をまぶし、京都まで運ぶと、ちょうど良い味になったとされています。

現在も、かつての鯖街道の近くを走っている国道367号線沿いには鯖寿司の店が見られます。

問47) 解答

蝉丸（せみまる、生没年不詳。）は平安時代前期の歌人、音楽家です。逢坂の関に庵をむすび、往来の人を見てこの歌を詠んだといひます。（百人一首の札では“行くも帰るも分かれては”と表記されています。）

現在、付近の大津市逢坂一丁目には蝉丸を歌舞音曲の神として祀る「関蝉丸神社下社」があり、拝殿横の六角形の時雨灯籠は鎌倉時代の作で重要文化財に指定されています。

問48) 解答

カタカナの町高島市マキノ町あるマキノピクランドは、旬の果物狩りが楽しめる農業公園です。果樹園を一直線に抜けるメタセコイア並木は、読売新聞社が選定する

「新・日本街路樹百景」にも選ばれています。

昭和 56 年に植えられたメタセコイアの現在の数は 500 本。春の新緑、夏の深緑、秋の紅葉、そして冬には枝々に雪が積もり樹氷のような風景を見せ、四季折々の美しさで訪れる人を魅了しています。とくに雪景色は「冬のソナタ」の場面を彷彿させるとして、多くの「冬ソナ」ファンが訪れています。

問 49) 解答

滋賀県と岐阜県の境に位置する伊吹山は、多くの薬草が生えており、織田信長がポルトガル人宣教師の進言を受けて薬草園を作ったといわれています。

伊吹山でもぐさの原料であるヨモギが豊富に得られたことと、亀屋左京六代目松浦七兵衛の宣伝活動もあって、「伊吹もぐさ」は広く知られるようになり、近江中山道柏原宿の名物となりました。

問 50) 解答

江戸の豪徳寺で彦根藩 2 代目藩主の井伊直孝がにわか雨にあって大木の下で雨宿りをしていた際に、手招きをする白猫を見て近寄ったところ、その大木に落雷があったとのこと。直孝はこの猫に感謝し、後に豪徳寺を井伊氏の菩提寺としました。「ひこにゃん」は、この白猫の伝説（いわゆる招き猫発祥伝説）から決定されたキャラクターです。